

# 小1プロブレム解消のための指導方法等の工夫について

下関市立川中小学校

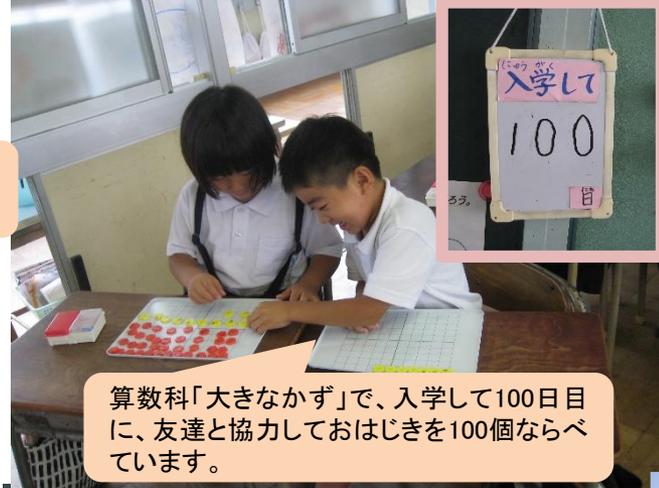
## 学習指導の工夫

子どもの思いや願いを生かした学習指導を構成し、学びを豊かにする

表現活動や作業的学習を取り入れた、生活科を中心とした合科的・関連的な指導の充実



生活科「あさがおをそだてよう」で10のまとまりを作って数を数えると早いことに気がしました。



算数科「大きなかず」で、入学して100日目に、友達と協力しておはじきを100個ならべています。



国語科「大きなかず」で、みんなで劇遊びをして、登場人物の心情に迫りました。



学級活動「誕生日会をしよう」で、園での経験を生かしながら、みんなで会を企画し仲良く遊びました。

## 成果

就学前の子どもは、【遊び】の中から様々なことを学んできている。その学びの姿を尊重し、子どもの思いに寄り添った小学校教育をすることが、入門期の児童にとって大切であると考えられる。

「教科や時間割の枠を取り払った柔軟な学習活動を仕組むこと」「日頃の遊びや生活を中心にした合科的な学習活動を仕組むこと」等を行ってきたことで、1年生の児童は、小1プロブレムに陥ることもなく、小学校の生活に慣れ、自信をもって楽しく学習に取り組むことができた。

今後も、幼保・小交流活動などを通して、幼児期の教育と小学校教育の様々な違いを小学校の教員が理解し、1年生の児童が学校生活にうまく適応できるよう、指導の充実を図りたいと考えている。